



# ホット・ホット・越谷

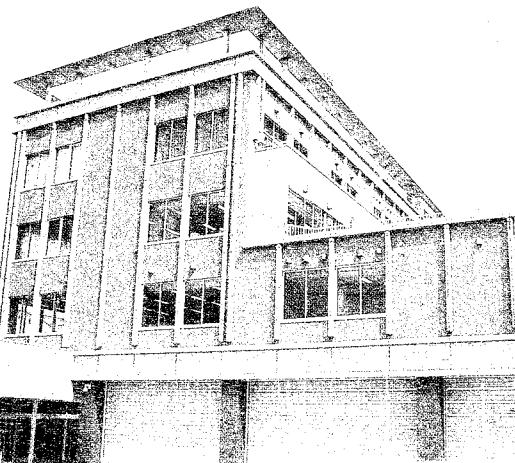
発行責任者：高橋 正久

平成15年10月1日発行 No.7

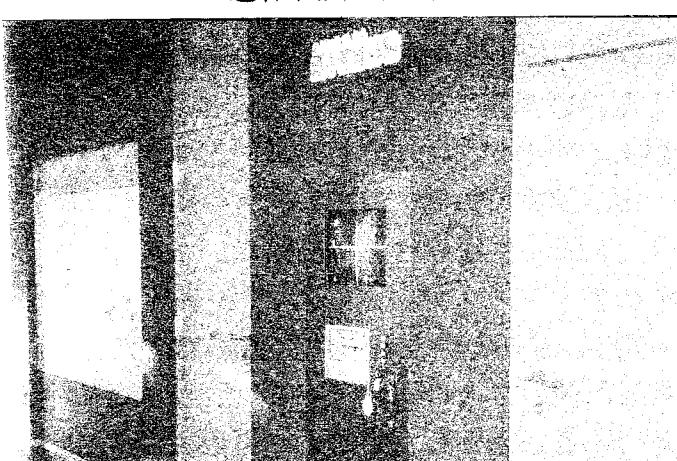
〒343-0838 越谷市蒲生三丁目七番七号

TEL 048-985-4826 FAX 048-989-2397

E-mail osamuchan@ae.wakwak.com URL http://www.ae.wakwak.com/~osamuchan



——越谷市消防本庁舎——



——防災体験コーナー——

昭和34年に消防署が開設されて以来43年、各種災害の態様も複雑多岐にわたり大規模化の傾向にあります。この様な状況の中、消防・救急・救助活動は迅速かつ適確な対応が求められています。こうした社会の要請と市民ニーズにこたえるため平成14年度末、市域中央部の大沢地区に「消防本庁舎」が竣工しました。

本庁舎は、市民の皆様が気軽に利用できる「防災体験学習施設」を併設し、体験コーナーでは、災害が発生したときの知識・判断力・行動力を身につけることができる各種体験装置を設置しております。この「防災体験学習施設」は、市民の皆様に利用していただくことにより、地域防災コミュニティー施設としての役割を果たすものと期待しております。

連絡先 048-974-0101

## 新しい風

直結していく、緊要な課題でもあり、質問の一つの例題を示した質問の高い質問であった。それほど難しいことではないのである。例えば、伊藤さんは2回で学んだものを、越谷市の施策に較、検討しながら具体的に改善の有無を質問している。市民生活に直結していく、緊要な課題でもあり、質問の一つの例題を示した質

前号で、新人議員の議会での一般質問について書いたが、今回はそのつづきである。9月議会で質問に立ったのは、前回質問しなかった2名と、伊藤さんと他1名であった。これで新人議員全員が、最初のハードルを超えたことになる。さて、その評価である。初めてなのだから、という一面を考慮しても、同じ新人でも明らかに差を感じたことである。その差とは、前回でも触れたことだが、自らの問題意識とテーマの絞込み、説得力のある説明が出来る、それなりの調査、準備が出来ているかどうかである。

# 伊藤おさむの9月議会報告 またまた一般質問に立つ！

6月議会に引き続き、伊藤おさむさんは、またもや9月議会で一般質問に立ちました。今回の質問は、7月に会派の行政調査で郡山市へ行き、その中で学んだことを越谷市の施策に反映させるために行いました。その内容は、極めて身近で市民の関心が高い「防災」と、子供達の教育にかかせない「総合学習」についてであります。

今回は、最近頻発している地震との関係で、「防災のまちづくりについて」の質問要旨を紹介いたします。

### 質問事項

1・越谷市が発行している「わが家の地震対策」に「越谷市地域防災計画」の具体的な内容が反映されていないのはなぜか？

今、市民が不安を感じていることの一つに、最近頻発している地震があると思います。調査地の郡山市では、「防災のまちづくり」に積極的に取り組んでいます。市民向けに作られた「防災ハンドブック」は、親切で丁寧、かつ解りやすい情報が盛り込まれております。それに対して、越谷市のハンドブックは、情報が不足していると思います。越谷市では、平成11年に大部で総合的、かつ具体的な「越谷市地域防災計画」が作られています。ところが、ここに示されている情報がハンドブックに反映されておりません。



2・市民に対する「越谷市地域防災計画」の周知について？

これだけ、総合的なものが作成されていながら、殆ど市民には知られておりません。自分も議員になって初めてこの存在を知りました。

3・液状化現象と地盤沈下防止の具体的な内容について？

「越谷市地域防災計画」では、越谷市の地形、地質、地盤の状況からして、地震があった場合の液状化の危険性や、地盤沈下の被害が大きいとありますが、その現状についての調査や対策について。

4・「大規模地震発生時における初動時の職員参集及び活動マニュアル」をつくり直す考えはあるか？

郡山市では、非常時携帯用のコンパクトな手帳が全職員に配布されています。しかし、越谷市のマニュアルは携帯用になっていません。

5・児童・生徒に対する防災教育のあり方について？

「平成14年度の越谷市の教育」には、防災について一言しか触れていませんが、実際にどのようなことをやっていくんでしょうか。以上が「防災のまちづくりについて」の質問でした。答弁を載せると問題が鮮明になりますが、紙面の都合上、割愛いたします。関心のある方は、会議録をお読みいただき、左記の市政報告会へご参加下さい。

## 地域を知るシリーズ No.5

### ふるさとの歌「蒲生音頭」が出来た！

平成14年の7月と11月に、蒲生地区コミュニティ推進協議会がまちおこし事業として、「蒲生音頭」の歌詞を募集しました。そのグランプリ入選作品に蒲生東町に住む作詞家の、舟木颯秋さんが選ばれ、既にCD化と振り付けがされて、各地域で披露されるようになっています（9月14日、蒲生地区の運動会で音頭と踊りを披露）。

舟木さんは、蒲生に28年間住んでおり、蒲生を第二のふるさとだと思っているそうです。そんな思いもあって、実は、この「蒲生音頭」の作詞は、10年以上前から温められており、何かの機会に発表したいと考えていたそうです。今回グランプリに入選されたのは、日頃の故郷への思いが、人々の心を捉えたのではないかでしょうか。

舟木さんは、60年代に「集団就職」で福島から上京し東京で仕事をしながら、かの有名な横井弘氏の門下生となり、作詞活動を初めて50年近くなるといいます。ノートには何百という歌詞が書き込まれていて、一つ一つに舟木さんの原点である「ふるさと」「夢をなすまで」といった気持ちがあふれています。その「夢」とは、あの北原白秋（憧れの人）と肩を並べることだといいます。

蒲生の町を愛し、ふるさとづくりに思いを持った、そして、蒲生在住の詩人が作った「蒲生音頭」は、これから私達のものとして歌い、踊られていくでしょう。

みんな楽しくにぎやかに	踊る手拍子	踊る手拍子	2	みんな楽しくにぎやかに	踊る手拍子	踊る手拍子	3
可愛いあの娘も輪のなかに	波も輝くきらきらと	みんな楽しくにぎやかに	4	みんな楽しくにぎやかに	踊る手拍子	踊る手拍子	5
みんな楽しくにぎやかに	つきの登戸町情けの旭町	武州埼玉蒲生の里に	5	みんな楽しくにぎやかに	踊る手拍子	踊る手拍子	西町に東町に西町に愛宕町
みんな楽しくにぎやかに	西町に東町に西町に愛宕町	南越谷夏祭り	西に富士を眺めつつ	西に富士を眺めつつ	西に富士を眺めつつ	西に富士を眺めつつ	西に富士を眺めつつ
みんな楽しくにぎやかに	西町に東町に西町に愛宕町	武州埼玉蒲生の里に	蒲生一・二の掛け声添えて	蒲生一・二の掛け声添えて	蒲生一・二の掛け声添えて	蒲生一・二の掛け声添えて	蒲生一・二の掛け声添えて



### 蒲生音頭

振付	唄	編曲	補作曲	作曲	補作詞	作詞
石井	寿	渋谷	渋谷	原	金井	舟木
節子	ひづる	澤兆	澤兆	賢一	純	颯秋

伊藤 あさむの

### ～バリアフリー検証～No.7

今年4月に、話を聞かせていただきました「越谷市障害児・者とともに生きる会 あすなろ」の方々が、新しく作った心身障害者地域デイケア施設「ぶろっぷ はあと あすなろ」に行き、お話を聞いてきました。このデイケア施設は、あすなろの方々が13年間の活動を通して取り組んできました、養護学校卒業後の支援、障害者の自立・社会参加を実現していく施設として、この5月にやっと開設の運びとなりました。施設は、大袋駅から徒歩10分位の所で、静かな住宅街の中にあります。会の目的に、「障害者が地域の中で、保護者・職員が一体となり、誰もが生き生きとして安心して暮らせるまちづくりとともに、個性を尊重し、充実した生活を送ることを目指していく」とあるように、地域社会とのふれ合いや交流を深め、地域の一員として理解と協力を求めています。

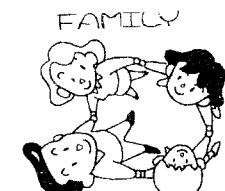


施設には、現在8名の利用者がおり、皆さん今年養護学校を卒業した方ばかりの第1期生です。定員は19名で、対象者は18才以上の重度の心身障害者です。利用日時は、月曜日～金曜日の午前9時～午後4時までです。職員は5～6名の体制で、散歩やレクリエーションなどの活動を行っています。普通の住宅を改築した施設ですが、とても広く、それぞれ使い勝手がよく出来ています。部屋には利用者が作った、一輪挿しや、花火やあすなろの木の絵が飾られていて、楽しく温かい雰囲気が感じられました。

2階から外に滑り台があったので、これで遊んでいるのかと思えばそうではなく、避難通路の設置として、認可の条件になっているそうです。それでも、滑り台とは結構なアイディアだと感じました。そのアイディアでいえば、「ぶろっぷ はあと あすなろ」の「ぶろっぷ」という言葉は、英語で「支える」という意味があり、また、ラグビーでスクラムを組む最前列の3人の両サイドをプロップといいます。つまり、心で支え合うというのがこの施設の理想であることから、会長の小野寺さんが名付けられたそうです。この施設を開設させるまでには、あすなろの方々による粘り強い活動があったそうです。資金集めから、認可までの準備、更には、越谷市からの支援を得るための交渉などです。

しかし、開設が出来たことでその一歩が始まり、新たな課題に取り組んでいます。

今、地域の様々な人々に呼びかけていることは、「ボランティア」の募集です。短い時間で誰にでも出来る様々な仕事があります。是非、見学に行ってみてはいかがでしょうか。



連絡先 〒343-0033  
越谷市恩間423  
TEL・FAX 048-976-0836

